

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0052 杉並区南荻窪2-28-13 荻窪会議室1階
☎03-3398-9127 FAX03-5941-8633

荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 (休館中)
コミュニティふらっと本天沼 杉並区本天沼2-12-10 ☎03-5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

*荻窪地域区民センターは令和6年11月1日から令和8年6月末(予定)まで休館中です。
当協議会は荻窪会議室、コミュニティふらっと本天沼等で活動します。



協議会ホームページ

春の子どもまつり

入場無料

笑顔あふれる、ふれあいの場で楽しもう!

日時：令和7年2月23日(日)午前10時～午後2時 会場：コミュニティふらっと本天沼

作る!!

おり紙あそび
～おひなさまをつくろう～



キャンディレイを
作ろう

※キャンディがなくなり
次第終了。



缶バッジを作ろう

協議会HPの春の子どもまつり
開催案内から型紙をダウンロード・印刷してイラストを描いて
持って来れば作ることができます。写真を貼り付けて作ることも
できます。



見る!!

ステージ
～母親クラブ
つくしの人形劇～



参加する!!

おひなさまと
写真を撮ろう!

おひなさまの由来を
知っていますか? 地域
で大切に保存されて
きた100歳のひな
人形を展示します。



苗木配布!!

「苗木募金」にご協力を
お願いいたします。

※午前10時～なくなり次第終了
(1家族1本)



販売コーナー!!

焼き芋・
だがし等



※おり紙あそび、おひなさま写真撮影、キャンディレイ、缶バッジ製作は1人1回です。 ※会場内の配慮(車椅子や手話等)については事前にご相談ください。

これからのスケジュール

12月

●17日◎ 広報紙「わたしの おぎくぼ」
No.372 12月17日発行

2025年1月

●26日◎ 「趣味の手作りヴァイオリン」
おはなし ～みんなで弾いてみよう～
会場：コミュニティふらっと本天沼

2月

●7日◎ 「すぎなみ詩歌館」の世界
会場：コミュニティふらっと本天沼
●8日◎ 15日◎ 「オペラ教室」
～オペラって何?～
会場：高井戸地域区民センター

3月

●23日◎ 「春の子どもまつり」
会場：コミュニティふらっと本天沼
●11日◎ 広報紙「わたしの おぎくぼ」
No.373 3月4日発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※荻窪地域区民センターは令和8年6月末予
定まで休館中です。
※問い合わせ先 荻窪地域区民センター協議会
03-3398-9127

※本紙発行後にスケジュールが変更になる場合
があります。最新情報は当協議会ホームペ
ージでご確認ください。



杉並公会堂

2024年1月9日から8か月間、安全に関する設備の改修を中心にリニューアル工事をし、9月1日にオープンした杉並公会堂を訪ねました。

★杉並公会堂の歴史

杉並区の文化のシンボルとして優れた文化や芸術に触れる機会を提供する杉並公会堂は、1957年の創立以来、東洋一の音響と称えられ多くの人々に愛され、良き伝統を継承してきました。しかし老朽化に伴い、旧公会堂は取り壊し2006年リニューアルオープンしました。そして今年新たに大規模改修を終えました。



正面入り口

★最高級の音質に包まれる至福のひととき

【大ホール】本格的なクラシックコンサートを主目的に設計された国内有数の本格的ホールです。



荻窪音楽祭

【小ホール】小さいながらも見事な音響性能を持ち、客席は段床から平土間形式への切り替えができます。

【グランサロン】大ホールの舞台と同じ広さで、広く明るい音楽練習室。飲食を伴う懇親会などでも利用できます。

【スタジオ】日々の練習や活動をサポートする、それぞれ特性の異なる5つの施設があります。

★杉並区と日本フィルハーモニー交響楽団の友好提携



大ホール

杉並区との友好提携30周年を迎えた日本フィルハーモニー交響楽団は、公会堂を本拠地としています。

区民が身近に質の高い文化に触れる機会を作るため、区内での演奏活動は年間50回、聴衆者は2万人以上です。

★ウルトラマン誕生の地

「8時だヨ！全員集合」や音楽番組などで多く使われた旧公会堂で、1966年7月9日に『ウルトラマン』テレビ放送の番組PRイベントが開催・収録され、ウルトラマンが初めてお披露目となりました。この「シリーズ初放送『ウルトラマン誕生』の舞台となった地」であることなどを記念したプレートが、エントランス横の壁に設置されています。



©円谷プロ

★防災への取り組み

杉並区と「災害時における帰宅困難者の受け入れ等に関する協定」を結び、災害時の一時滞在施設となっています。

また、公演実施時の災害発生を想定した「避難訓練コンサート」を東京消防庁および荻窪消防署と連携して開催しています。

★カフェ「エスプレッソ・アメリカーノ」

ガラス張りの開放的なカフェは、公会堂利用者だけでなく誰でもくつろげる空間です。喫茶・軽食メニューは美味しいと評判です！



★ショップ



CDや音楽グッズを販売していますが、最近の売れ筋は「ジモトート」と「なみすけグッズ」です。区役所のコミュかるショップに行かなくても購入できると人気です。

杉並公会堂

交通：JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・荻窪駅北口から徒歩7分
住所：〒167-0043 杉並区上荻1-23-15 電話：03-3220-0401

開催報告

9月8日(日)

おぎくぼセンター祭

当協議会のメインイベント「おぎくぼセンター祭」が800人を超える来場者を迎え開催されました。1階では玄関ホールの花販売・スーパーボールすくい・恒例の苗木配布・近隣農家の新鮮野菜販売・マルシェコーナー、2階では歌やダンスなどの発表やさまざまな展示、地下2階ではニューススポーツ体験など、家族揃って楽しんでいただけたお祭りでした。荻窪高校の皆さん、近隣のボランティア、協議会委員OBの皆さんのご協力に御礼申し上げます。当協議会HPの開催報告に当日のスナップ写真を掲載しています。



桃井第二小学校音楽クラブ



マルシェコーナー



ニューススポーツ体験

荻外荘と開戦記念日

荻外荘公園の開園式は、太平洋戦争の開戦記念日にあたる12月8日に行われるとのこと。区によれば、この日を選んだことに他意はないそうですが、「昭和史の舞台」としての因縁を感じます。



復元された荻外荘

いまから83年前の12月8日のことです。「帝国陸海軍は、本8日未明、西太平洋において、アメリカ・イギリス軍と戦闘状態に入れり……」。大本営発表の臨時ニュースをラジオで聞いた徳川夢声（天沼の住人）は、「あんまり物凄い戦果であるのでピッタリ来ない。（略）いくら万歳を叫んでも追いつかない」と感激。荻外荘の向かいに下宿していた作家・阿川弘之（当時、東大生）は「涙がぼろぼろ流れて」きたといいます。では、同じニュースを、荻外荘の主・近衛文麿は、どのように聞いたのでしょうか。

この日、第三次近衛内閣を総辞職して間もない近衛は、滞在していた箱根で開戦の報に接すると、驚愕するとともに怒りました。そして、彼には珍しいまでに狼狽して急ぎ帰京しました。この日、華族会館に近衛を訪ねた細川護貞は当時のことを次のように回想しています。

「周囲の人々は真珠湾の勝利にざわめいていたが、彼は浮かぬ顔をしていた。私が室に入っていくと、ゆっくり立上っ

て廊下に出て来て、『えらいことになった。僕は悲惨な敗北を実感する。こんな有様はせいぜい二、三カ月だろう』と沈鬱な声で言った。私はそのときの彼の様子を忘れることができない。」

（岡義武『近衛文麿～「運命」の政治家』による）

近衛の心境は、その2か月前、内閣総辞職に当って天皇に上奏した文からもうかがうことができます。「シナ事変の未だ解決せざる現在に於て更に前途の透見すべからざる大戦争に突入するが如きは、シナ事変勃発以来重大なる責任を痛感しつつ臣文麿の到底忍び難き所なり」。「シナ事変」とは、近衛の首相就任直後からはじまった日本と中国の戦争。和平交渉のチャンスを逃すなど、近衛の対応のまずさが重なって出口なき戦争へと突き進み、中国を支援するアメリカが日本軍の撤退を要求して石油の輸出を止めるなどの圧力をかけてきたことから、日米の関係は一触即発の状態になりました。近衛は、なんとか外交交渉で解決しようとはしますが、陸軍は撤兵には絶対応じられないと主張。近衛の上奏文は、そうした状況のなかで、圧倒的に国力に差のあるアメリカとの戦争を回避できなかった自らのふがいなさを吐露したものとといえるでしょう。

終戦後、作家でジャーナリストだった菊池寛は、310万を超える犠牲者を出した太平洋・アジア戦争を「日清、日露の戦いとは異なり、しなくともすんだ戦争」といい、「政治を他人まかせにして置いたために、我々はひどい目にあった」と書いています。まさに、その政治の舞台の一つであった荻外荘に宿る記憶は、戦争をめぐる世界が揺れ動くいま、私たちに多くのことを考えさせてくれるのではないのでしょうか。

荻窪地域区民センター協議会OB 松井和男

開催報告

10月5日(土)

防災フォーラム2024

●第1部「親子で学ぶ自宅退避」

講師は杉並災害ボランティアの会副代表の山城隆盛さん。「災害時に電気、ガス、水道で何が一番復旧しないのか？」のクイズからスタートし、防災MAPで自宅や震災救援所、区内9か所の給水所を確認しました。水でカップ麺とアルファ米を作成、実食しました。

●第2部「震災救援所や自宅での注意点と対策について」

講師は杉並区役所危機管理室地域安全担当課長の佐野英哉さん。約40名が参加しました。震災時は泥棒とボランティアの見分けがつかない、飛び込み営業は部屋に入れない、警察官も身分確認電話をする、等のアドバイスがありました。講演後グループディスカッションで



地域の防犯対策について熱心な話し合いがなされました。

また、1階エントランスで防災展示を実施しました。

開催報告

10月19日(土)

令和6年度 地域懇談会



グループ討議



懇談会

令和6年度の地域懇談会が荻窪地域区民センターで開催され、町会・自治会・福祉・学校関連をはじめ関係諸団体の方々、地域区民センター協議会関係者など約50名が参加しました。

荻窪地域区民センター協議会の杉原総務部長の開会挨拶に続き、恵羅会長が協議会の活動について講演を行いました。

そして課題などを話し合い、得られた成果を日々の活動に反映させるため、グループ討議が行われました。

その後、全員での歓談で、さらに横の繋がりが深まりました。

講座などのご案内

※スケジュール変更の場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間・会場	定員	参加費	申込締切
「趣味の手作りヴァイオリン」のおはなし ～みんなで弾いてみよう～	(1)講義 ①ヴァイオリンよもやま話(歴史、材料、音の出る仕組み) ②手作りの苦労話 (2)手作りヴァイオリンで遊ぼう ③弾いてみよう ④ヴァイオリン演奏と参加者合唱 講師:高倉理(手作りヴァイオリン製作者)	1月26日(日) 午後1時～3時 コミュニティふらっと本天沼	30名	200円 ※注1	1月12日(日)
「すぎなみ詩歌館かるた」の世界	「すぎなみ詩歌館かるた」が出来るまでのいきさつと内容の解説。 講師:岩下武彦(中央大学名誉教授) 補助講師:土屋隆一(すぎなみ文化協会理事)	2月7日(金) 午後2時～3時30分 コミュニティふらっと本天沼	20名	200円	1月26日(日)
オペラ教室 ～オペラって何?～	第1回(講義):「オペラ」を知ろう 第2回(講義&実践):「オペラ」をやってみよう (歌・芝居入門編) 講師:古川真紀(すみだ歌劇団総合芸術監督)	2月8日・15日 各土曜日(2回) 午後2時～4時 高井戸地域区民センター	30名	200円	1月19日(日)

【講座の申込方法】 往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(右の二次元コード)からも申込ができます。

応募締切の数日後に結果をご連絡します。応募者多数の場合は抽選です。

- ◆往復はがきの場合(1人1枚)①受講講座名②住所③氏名(フリガナ)④年齢⑤電話番号を明記の上、荻窪地域区民センター協議会(〒167-0052杉並区南荻窪2-28-13 荻窪会議室1階)宛お申し込みください。
 - ◆ホームページの場合受講希望の講座にアクセスし、フォームに沿って必要事項を入力し、お申し込みください。
- なお、ホームページの開催案内の掲載開始は申込締切日の概ね1か月前を予定しています。

※注1:「趣味の手作りヴァイオリン」のおはなしのみ1枚のハガキに2名まで連記可



第25期協議会委員 定期募集

荻窪地域区民センター協議会では、ボランティアで活動していただける委員を募集します。協議会委員は、地域に役立ちたいとの思いがあれば、経験経歴は不問です。

活動内容は各種イベントの開催(地域交流部)、講座・講演会の企画運営(事業企画部)、広報紙の編集発行・ホームページの制作運営(広報部)、総務・経理業務担当(総務部)などです。

募集要項

- ・対象:荻窪地域(地図参照)に在住・在勤・在学の方
- ・募集人員:10名程度
- ・活動期間:4年間(1期2年を2期)(2025年4月～2029年3月末)
- ・報酬:交通費程度
- ・申込書類:申込書(荻窪会議室1階受付で配布HPからもダウンロード可能)に必要事項を記入して荻窪地域区民センター協議会事務局に提出してください。
- ・申込期限:2025年2月3日(月)
- ・問い合わせ先:荻窪地域区民センター協議会事務局 ☎03-3398-9127



郷土博物館分館 問合せ: ☎5347-9801

国指定史跡復原整備完成記念 企画展 「荻外荘」と近衛文麿

西棟1・2階 展示室

荻窪の閑静な住宅街にある「荻外荘」は、大正天皇の侍医頭を務めた医学者・入澤達吉の別邸として昭和2年に建てられ、政治家・近衛文麿が昭和12年の第一次内閣期から昭和20年12月に自決するまで過ごしました。政治の転換点となる重要な会議が数多く行われた場所であることから、平成28年3月、国の史跡に指定されました。本年12月9日から、近衛文麿居住当時の状態へ復原整備された「荻外荘」を一般公開しています。

本展では、復原整備の完成を記念して、「荻外荘」創建時の資料や近衛家旧蔵資料を中心に展示し、昭和前期の歴史をたどります。

【開催期間】令和6年10月19日(土)～令和7年1月26日(日)

【展示解説】令和6年12月22日(日)

午後2時～2時30分 西棟2階展示室

予約不要(お時間に直接展示室へお越しください。)

企画展・郷土博物館収蔵資料展 「一打つ」

西棟1・2階 展示室

日々の暮らしを、「打つ」という行為に着目して顧みると、実に多くの場面で「打つ」という行為を行っていることに気付かされます。今回の収蔵資料展では、郷土博物館で収蔵している多くの民俗資料の中で、打つために生まれた道具を性格の場面ごとに展示します。また、身近な行為であった「打つ」という言葉には様々な意味や慣用句があります。1階では、そうした「打つ」にまつわる言葉についてご紹介いたします。

【開催期間】1階 令和7年2月15日(土)～4月20日(日)

2階 令和7年2月15日(土)～5月11日(日)

- 場 所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
- 開館時間:午前9時～午後5時
- 休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日・休日の場合は翌平日)、年末年始(12月28日～1月4日)
- 観 覧 料:無料

「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。
FAX03-5941-8633

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の 日程

- 1月28日(火) 午後1時～ 会場:荻窪会議室
 - 2月25日(火) 午後1時～ 会場:荻窪会議室
 - 3月18日(火) 午後1時～ 会場:荻窪会議室
- *委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。